

役割語研究の達成と課題

金水 敏

大阪大学大学院文学研究科

公開シンポジウム「役割語・発話キャラクタ研究の展開」

2011年2月5日・6日

於大阪大学・大学教育実践センター講義管理棟B218

4年間の活動概要

科研費(金水)と関連サイト

- 科学研究費補助金 基盤研究 (B)「役割語の理論的基盤に関する総合的研究」(課題番号: 19320060、研究代表者: 金水 敏(大阪大学大学院文学研究科教授)、研究期間: 平成19~22年度)
<http://www.let.osaka-u.ac.jp/~kinsui/yakuwarigo.htm>
- SKの役割語研究所
<http://skinsui.cocolog-nifty.com/sklab/>
- SKの役割語図書室
<http://skinsui.cocolog-nifty.com/sklibrary/>

研究組織

- 研究代表者: 金水 敏(大阪大学・大学院文学研究科・教授)
- 研究分担者・連携研究者:
定延利之(神戸大学・大学院国際文化研究科・教授)、山口治彦(神戸市外国語大学・外国語学部・教授)、鄭惠先(北海道大学・留学生センター・准教授)、勅使河原三保子(駒澤大学・総合教育研究部・講師)、渋谷勝己(大阪大学・大学院文学研究科・教授)、松井智子(東京学芸大学・国際教育センター・教授)、吉村和真(京都精華大学・マンガ学部・准教授)、岡崎友子(就実大学・人文科学部・准教授)
- 研究協力者:
西田隆政(甲南女子大学・文学部・教授)、本浜秀彦(沖縄キリスト教学院大学・人文学部・准教授)、菅さやか(東洋大学・社会学部・助教)、恩塚千代(江原大学校・人文大学・招聘教授)、富樫純一(大東文化大学・文化大学・講師)、渋谷倫子(甲南女子大学・文学部・講師)
- 研究員
依田恵美、岩田美穂、藤本真理子
- 事務補佐
廣坂直子、池田貴子

著書・論文(金水)

- 金水 敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店。
- 金水 敏(編著) (2007) 『役割語研究の地平』くろしお出版。
- 金水 敏(編著) (2010) 『役割・キャラクター・言語—シンポジウム・研究発表会報告—』科学研究費 基礎研究 (B)研究、課題番号:16320060、研究代表者:金水 敏、全170頁。
- 金水 敏・乾 善彦・渋谷勝己(共編著) (2008) 『日本語史のインタフェース』シリーズ日本語史, 4 岩波書店(金水の担当は第1章、第7章)。
- 伊藤公雄(編著)・金水 敏他(著) (2008) 『マンガの中の他者』(ビジュアル文化シリーズ) 臨川書店 (金水の担当は第1章(pp.14-60)、おわりに(pp.223-227))。
- 中村桃子(編著)・金水 敏他(著) (2010) 『ジェンダーで学ぶ言語学』世界思想社(金水の担当は1-2 「男オトコことば」の歴史—「おれ」「ほく」を中心に(pp.35-49))。
- =====
- 金水 敏 (2007) 「言語コミュニティと文体・スピーチスタイル」伊井春樹(監修)加藤昌嘉(編集)『源氏物語のことばと表現』講座 源氏物語研究, 8: 9-29、おうふう。
- 金水 敏 (2008) 「翻訳における制約と創造性—役割語の観点から—」飯倉洋一(編)『テキストの生成と変容』pp.61-66、2005-2006年度 大阪大学大学院文学研究科広域文化表現論講座共同研究研究成果報告書。
- 金水 敏 (2010a) 「現代日本語の役割語:ステレオタイプの話体の研究」『言語学と日本語教育』VI, pp.1-7、くろしお出版。
- 金水 敏 (2010b) 「現代日本語の役割語と発話キャラクタ」『日東学研究』Vol 2: 99-110、韓国・江原大 学校・日本学研究中心。
- 金水 敏 (2010c) 「「ええ、まあ」の言語学」大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(編)『ロボット演劇』pp.66-71、大阪大学出版会。

著書(予定)

- 『役割語研究の展開』(仮称)くろしお出版
 - 第1部 キャラクタをめぐる
 - 1 金水 敏「現代日本語の役割語と発話キャラクタ」
 - 2 定延利之「キャラクタは文法をどこまで変えるか？」
 - 3 山口治彦「役割語のエコロジー」
 - 第2部 教育と役割語
 - 4 恩塚千代「教科書に現れる役割語の役割—教科書におけるバーチャルリアリティのすすめ—」
 - 5 鄭 惠先「「役割語」教育を通しての日韓翻訳のスキルアップ」
 - 第3部 外国語と役割語
 - 6 太田真希恵「ウサイン・ボルトの“i”は、なぜ「オレ」と訳されるのか～スポーツ放送の「役割語」～」
 - 7 金田純平「役割語から見た文末詞対照」
 - 8 細川裕史「ドイツ語に『役割語』は存在しうるのか？」
 - 第4部 さまざまな役割語
 - 9 米井力也「『風の谷のナウシカ』と役割語—映像翻訳論覚書—」
 - 10 本浜秀彦「沖繩人(ウチナーンチュ)の表象と役割語—語尾表現「さ」から考える—」
 - 11 岡崎友子・南侑里「役割語としての「幼児語」とその周辺」
 - 12 依田恵美「役割語としての片言日本語」
 - 13 金水 敏他「大阪大学卒業論文より(2002～2010)」
 - 第5部 ツンデレをめぐる
 - 14 西田隆政「役割語としてのツンデレ表現—「常用性」の有無に着目して—」
 - 15 富樫純一「ツンデレ属性と言語表現の関係—ツンデレ表現ケーススタディー—」
- 『役割語小辞典』(仮称)研究社
- 中国人を表す疑似ビジンについて

イベント

- **シンポジウム・研究発表会「役割・キャラクター・言語」**

2009年3月28日・29日於神戸大学百年記念館

主催: 科学研究費補助金 基盤研究 (B)「役割語の理論的基盤に関する総合的研究」
(研究代表者: 金水 敏)

科学研究費 基盤研究 (A)「人物像に応じた音声文法」(研究代表者: 定延利之)

連携: 神戸大学大学院教育改革支援プログラム「文化情報リテラシーを駆使する専門家の養成」

講演・研究発表12件、シンポジウム1件、ポスターセッション9件

- **「役割語研究会シンポジウム」**

2010年2月20日(土): 於 江原大学校 人文大学201号室(マルチメディア講義室)

- **役割語研究発表会(「土曜ことばの会」と共同開催)**

2010年7月17日(土)

福島教隆氏(神戸市外国語大学)「スペイン語の役割語」

2010年2月20日(土): 於 江原大学校 人文大学201号室(マルチメディア講義室)

役割語研究会シンポジウム

時間	講演/発表内容	講演/担当者	司会者
12:30~13:00	受付		
13:00~13:10	開会の辞	黄昭淵 (江原大学日本学科・教授/ 日本研究センター長)	
13:10~14:10	基調講演「役割語研究の現状」	金水敏 (大阪大学大学院・教授)	黄昭淵
14:10~14:25	質疑応答		黄昭淵
14:25~14:40	休憩		
14:40~15:10	日本の大学生における役割語研究 —教育的成果と課題—	岡崎友子 (就実大学・准教授)	勅使河原三保子
15:10~15:40	役割語を主題とした「日韓翻訳演習」の実践報告—課題 遂行型の翻訳活動を通しての気づきとスキル向上—	鄭惠先 (北海道大学留学生センター ・准教授)	依田恵美
15:40~16:10	韓国の日本語教科書にみられる役割語—生きた日本語 を教える—	恩塚千代 (江原大学日本学科・招聘教 授)	廣坂直子
16:10~16:30	休憩		
16:30~17:30	パネル・ディスカッション—日本語教育に活かせる役 割語(仮題)—	講演者、及び発表者	金水敏
17:30~18:00	質疑応答		黄昭淵
18:00~20:00	懇親会		

講演・口頭発表等(金水)

- 2007年度:
東京大学(2007/4/21)、Oxford 大学(2007/5/3)、京都国際マンガミュージアム(2007/9/8)、長崎純心大学(2007/12/15)、San Francisco State University (2008/3/2)
- 2008年度:
岡山大学(ドイツ文法理論研究会、2008/8/9)、群馬県立女子大学(2008/7/12)、天満天神繁昌亭(2008/10/25)、就美大学(2008/11/22)、NHK放送文化研究所(2009/3/12)
- 2009年度:
淀屋橋odona(2009/7/3)、Institute of Teacher Education Malaysia(2009/11/3)、日本女子大学(2009/11/21)、広島女学院大学(2009/12/2)
- 2010年度:
愛媛大学(2010/7/25)、同志社大学(2010/10/30)、駒澤大学(2010/12/5)、早稲田大学(2010/12/18)

授業(金水)

- 大阪大学:
国語学演習(2007年度、2008年度、2010年度)、文学部共通概説(2008年度)、思考の科学(2009年度)、Erasmus Mundos (2008年度)、国際交流科目(2010年度)
- 非常勤:
関西学院大学(2007年度)、九州大学(2008年度)、金沢大学(2009年度)
- 高校出前授業:
大阪府立千里高校(2009年度、2010年度)、大阪府立北野高校(2010年度)
- その他:
神戸YWCA、神戸YMCA、はびきの市民大学(2010年度)

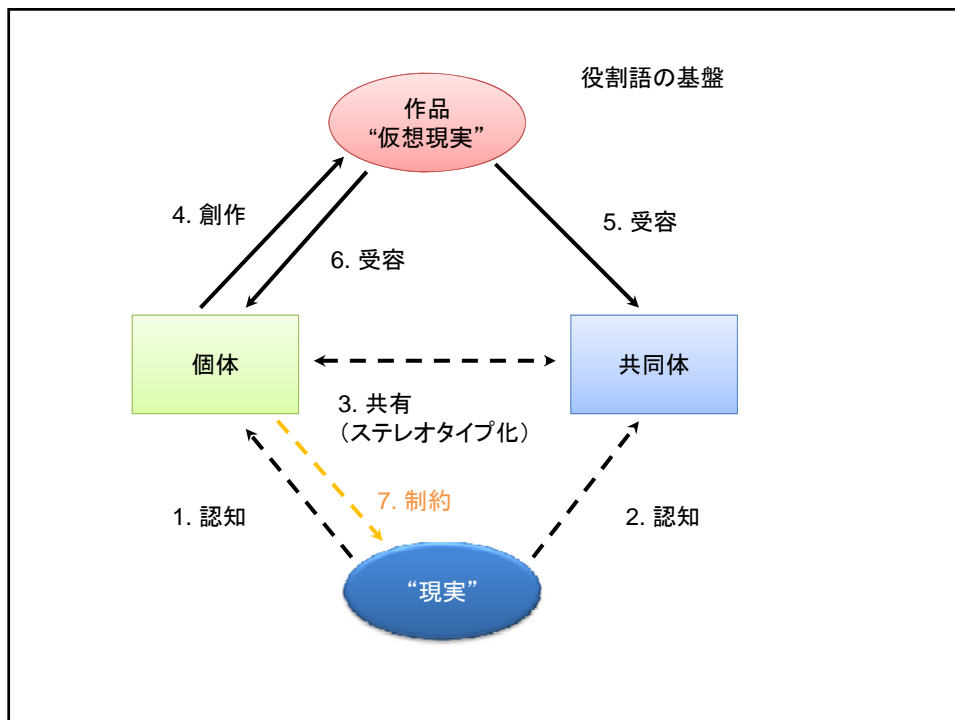
テーマ別達成と課題

理論(1)習得

- 2010年度に松井智子氏、菅さやか氏の協力のもと、予備実験を開始
- 役割語の知識は何歳ごろに獲得されるか。またその質と過程は？2011年度以降の実験で本格的に追求する予定。
- 予備実験では、概ね4歳くらいで役割語の知識を操作できるようになるようだ。
- 明日の菅さやか氏の発表参照。

理論(2)歴史

- 金水(2003)、金水・乾・渋谷(2008) 第7章参照。
- 習得とも関連するが、どのような刺激に基づいて、どのように世代間での継承が行われるかを、実証的に明らかにしたい。
- 現実から離れていく〈老人語〉と、現実と一定の交渉を持つ〈男ことば〉〈女ことば〉との違いは？
- 描写だけでなく、“規範”との関連
- cf. 中村桃子他のジェンダー言語論



理論(3) キャラクタ

- 定延氏らの一連の「発話キャラクタ」論。スタイルと人格との間にある“キャラクタ”。あるいは意志的なコントロールの観点から。
- “するキャラクタ”と“よそおうキャラクタ”の区別が有効か。
cf. 昨今の「若者のキャラ化」問題
- 山口治彦氏の批判(明日の発表参照)
- 役割語のとの関連で、どの範囲を「キャラクタ」と認めるか？
金水(2010b)では、社会的グループに基づくキャラクタを基本と考えるが、その他の原理による拡張も付随的に認める。
cf. “ツンデレ”、“善玉・悪玉”、“品格”等
- 若者が友人の評価に用いる「～キャラ」は、コミュニケーション能力に関係する類型化が多い。
- “常用性”の問題(西田氏発表)

インタビュー調査で得られた「キャラ」一覧(計95人)

キャラ					
いじられキャラ	7人	グループ内でからかわれる	無口キャラ	1人	あまりしゃべらない
バカキャラ	4人	勉強が苦手、発言がバカっぽい、常識を知らなさ過ぎる	憎めないキャラ	1人	何か嫌なことをされても許してしまう
クールキャラ	3人	いつもクールにきている、かっこつけ	うるさいキャラ	1人	学校でうるさい、声がうるさい、よくしゃべる
かわいいキャラ	3人	かわいい感じ、顔がかわいい	ハイテンションキャラ	1人	いつもハイテンションでおもしろい
キモキャラ	3人	態度が異常、口癖が変わっている、変な癖を持っている	ゲイキャラ	1人	男友達とよく一緒にいることだけで、ゲイキャラと呼ばれている
なぞキャラ	3人	よく知らない。何を考えているか分からない人	いじめキャラ	1人	弱い人をいじめる、口が悪い
ボケキャラ	3人	ボケがおもしろい、ボケ担当	ひきたせるキャラ	1人	友人を初対面の人の前でうまく引き立たせてくれる役割
まじめキャラ	3人	まじめ、やるときはやる人	空気読めないキャラ	1人	天然ボケではなく、場の空気が読めず、突拍子もないことを言う
いやしキャラ	2人	いるだけで癒してくれる、やさしい	貧乏キャラ	1人	お金がいつもない
下ネタキャラ	2人	下ネタばかり連発する、下ネタを言うと喜ぶ	エロキャラ	1人	エロいことが大好き、エロいことばっかり言う
キレキャラ	2人	すぐにキレる、キレやすい人	むつりキャラ	1人	実はエッチで、むつりすげえ
天然キャラ	2人	少し抜けている、天然ボケの人	純粋キャラ	1人	今どきではなく、純粋な心の持ち主
お笑いキャラ	2人	面白いことをよくいう人	ふるいキャラ	1人	発言が年寄りみたい
田舎キャラ	2人	実家が田舎、なまっている	汚キャラ	1人	汚れ役
あねごキャラ	2人	頼りになる、男っぽい	番長キャラ	1人	リーダー、喧嘩が強いらしい
いじりキャラ	2人	ツッコミを入れる人、からかう人	オヤジキャラ	1人	発言がオヤジ、しぐさや癖がおやじ
ボスキャラ	2人	一応、どこに行くかきめたりする役割、リーダー	あつみキャラ	1人	会話が熱い、情熱的
スロットキャラ	2人	ギャンブルのスロットが大好き	ホモキャラ	1人	外見がホモっぽい、彼女ができないで男友達といつも一緒
シャイキャラ	2人	シャイな人、恥ずかしがりや	歌手キャラ	1人	歌がうまい、何かの選手権で優勝した
ツッコミキャラ	2人	ツッコミが役割、いじりキャラ	あにきキャラ	1人	面倒見がいい、おごってくれる
へたれキャラ	1人	度胸がない、腰抜け、チキン	バシリキャラ	1人	弱い、バシリをしてくれる
ずさんでるキャラ	1人	荒れているキャラ、キレやすい	メガネキャラ	1人	メガネをかけている
ゴリラキャラ	1人	ゲームのマリオカートでドンキーぱっかり使う汚い人(?)	うざいキャラ	1人	発言が気に入らない、何をやってもうざい
無責任キャラ	1人	責任感がない	ケチキャラ	1人	お金を絶対におごらない、割り勘が1円単位
キャラビヤビヤキャラ	1人	若い感じ、キャラビヤビヤしている	いい人キャラ	1人	やさしい、いい人すぎるので、良い意味ではない、いい人バカ
ボートしてるキャラ	1人	いつもボートしている	仕切りキャラ	1人	リーダー的な人、会話をまとめるのがうまい
格闘キャラ	1人	格闘技をしていた、強い人	元気キャラ	1人	いつも元気な子
オカマキャラ	1人	声がおかまっぽい	分からない	7人	

相原(2007:126-127)、出典:潮沼(2007)

社会的ステレオタイプに基づく役割語 のマトリックス

	(中央)		周縁
	男	女	
老年	老人語	おばあさん語	田舎言葉・関西弁等
※青年・壮年	男ことば	女ことば	
(階層)	上司語 ヤクザ語・ヤンキー語	お嬢様・奥様語 スケバン語・ギャル語	
子供	少年語	少女語	
幼児	幼児語		

- さらに、〈軍隊語〉〈店員語〉など、職業にまつわる場面依存的役割語もある。
- 宇宙人、ロボットなど、「人ならざるもの」の役割語や、外国人の発話としての疑似的な“ピジン”の役割語もある。

記述面

- 性差・年齢・世代：
赤ちゃんことば、〈ごまめキャラ〉、〈男ことば〉、〈女ことば〉、〈老人語〉、〈おばあさん語〉
- 方言：
〈田舎ことば〉、〈関西弁・大阪弁〉、〈九州弁〉、〈土佐弁〉、〈鹿児島弁〉、〈琉球方言〉...
- 身分・職業：
軍隊、警官、売り子、教師、ラッパー、...
- アウトロー：
ヤクザ、暴力団、スケバン、暴走族、博徒、股旅、...
- 外国人：
疑似ピジン、訛、丁寧・非丁寧、
- 人でないもの：
宇宙人、ロボット、妖精、動物。キャラ語尾、音調、語用論(金水2010c)。

対照研究

- 英語:山口治彦氏(金水 2007所収)
- ドイツ語:細川裕史氏(金水(編)印刷中)
- スペイン語:福嶋教隆氏(2010/7/17研究発表会)
- 韓国語:鄭惠先氏(金水 2007所収)
- 中国語:河崎みゆき氏
「漢語”角色語言”探討—以中国方言電視劇為範本
(中国語の「役割語」を考える—中国方言ドラマを例
に)」『現代語文』2010年10月下旬刊, 80-84頁、現代語
文雑誌社
<http://www.modernchinese.org/lmu/lmu201010.htm>
- 今後も、言語の種類を増やし、また記述の精度を高め
ていきたい。

翻訳論

- T. M. ガウバッツ氏(金水(編)2007所収)
- 金水(2008)
- 鄭惠先氏(教育との関連で)
- 太田眞希恵氏(テレビのテロップ。金水(編)2011
所収)
- 役割語が豊富な言語からそうでない言語へ、ま
たその逆でそれぞれどのような手段を執るか。
- また、偏見を含む役割語使用の翻訳をどのよう
にするか。cf. 黒人奴隷、「アバター」

教育

- 日本語教育・翻訳教育：
恩塚千代氏、鄭惠先氏（金水（編）2011、今回ご発表参照）。
日本語教師養成のカリキュラムの中にどのように位置づけるか。
- 人文科学入門として：
卒業論文（金水（編）2011参照）。また、岡崎友子氏（2011年江原大学での発表）。
とっつきやすく、議論も弾むので、人文科学入門の題材としてふさわしい。しかし一定以上の水準に持って行くのは相当の努力が必要。

さいごに

- 2011年度～2015年度、基盤研究(B)で再申請中。
- 今後も展望が開けており、進歩が十分見込まれる。課題は山積している。
- さらに多くの研究者の参加を募ります。
- ご静聴有り難うございました。